

箱根－横須賀連携企画第2弾 アートでつなぐ山と海
響きあう 20世紀美術
彫刻の森美術館×横須賀美術館



国吉康雄《毛皮の女》1930年
横須賀美術館所蔵



ヘンリー・ムーア《3つの立っている像》
1953年 彫刻の森美術館所蔵

1 開催趣旨

箱根地域の美術館と連携する「アートでつなぐ山と海」の第2弾として、彫刻の森美術館と横須賀美術館の所蔵する名品により、20世紀美術を紹介する展覧会を開催します。

近現代の日本美術からなる横須賀美術館のコレクションに対し、彫刻の森美術館では、開館以来55年におよぶ活動を通じ、近現代の彫刻作品を重点とする、西洋と日本にまたがるコレクションを形成しています。本展では、彫刻の森美術館が所蔵するピカソやムーアなどを含む名品およそ40点を、横須賀美術館の所蔵品と組み合わせて展示し、響きあいを楽しみます。また、1880年代から2000年代の作品をテーマごとにおよそ時系列にそってまとめ、20世紀美術が移り変わってゆくようすを概観します。

2 会期・会場・主催等

会期：令和6（2024）年11月16日（土）～12月22日（日）

休館日：12月2日（月）

会場：横須賀美術館（神奈川県横須賀市鴨居4-1）

主催：横須賀美術館 特別協力：公益財団法人彫刻の森芸術文化財団

問合先：横須賀市コールセンター 046-822-4000（月～金：8:00～18:00、土日・祝休日：8:00～16:00）

3 観覧料

一般1,300（1,040）円、高大・65歳以上1,100（880）円 中学生以下無料

【お得なセット券】※同時開催の運慶展とあわせてお得なセット券をご用意しています。

一般2,000円（1,600円）／高大生・65歳以上1,800円（1,440円）

*（ ）内は20名以上の団体料金 *高校生（市内在住または在学に限る）は無料

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料

●見どころ1

彫刻の森美術館の名品が横須賀美術館にやってくる

今年、開館55周年を迎えた彫刻の森美術館では、近・現代の彫刻作品を中心に、質、量ともに国内屈指のコレクションを形成しています。本展では、同館のコレクションを代表するピカソ、ムーアをはじめ、36作家39点（寄託作品を含む）を出品していただきます。



ヴォルス《煉瓦の塔の上に》1939年
彫刻の森美術館所蔵



バーバラ・ヘップワース《待っている四つの形》1968年
彫刻の森美術館所蔵 Barbara Hepworth © Bowness



朝倉文夫《親子猫》1935年
彫刻の森美術館所蔵

●見どころ2

ピカソの作品4点を展示

彫刻の森美術館は、世界有数のピカソ作品のコレクションでもよく知られています。本展ではこの中から、ピカソが最後の妻ジャクリーヌと過ごした1950～60年代の作品4点を展示します。

●見どころ3

横須賀美術館の空間を活かした彫刻作品の展示

本展では、彫刻の森美術館のコレクションから19点の彫刻作品を展示します。三木富雄が作り続けた巨大な《耳》3点を、横須賀美術館のエントランスホールで展示することにより、作品を通じて語りかけられる言葉に耳をすますことを皆様にお勧めします。

三木富雄《耳1, 2, 3》1970-75年
彫刻の森美術館所蔵



箱根ー横須賀連携企画 アートでつなぐ山と海 について

横須賀美術館では、「アートでつなぐ山と海」をキーワードに、神奈川県内の東地区である横須賀と西地区である箱根の美術館が連携し、各美術館が所蔵する名品の紹介を通して、相互の魅力を届けるプログラムを2023年から始めています。昨年4～7月には、第1弾として箱根ラリック美術館所蔵のルネ・ラリック作品を紹介する「明日への祈り展 ラリックと戦禍の時代」展を、横須賀美術館の所蔵品展示室で開催しました。

彫刻の森美術館 について

四季折々の雄大な自然が楽しめる箱根。彫刻の森美術館は、その大自然を生かして1969年に開館した、国内ではじめての野外美術館（オープンエアミュージアム）です。7万㎡の緑豊かな屋外展示場には、ロダン、ムーア、ミロなど、近・現代を代表する彫刻家の名作約120点が常設展示されています。お気に入りの作品をじっくり眺めたり散策気分でのんびり歩いたり、思い思いに芸術とふれあえます。また、世界有数のコレクション319点を順次公開しているピカソ館をはじめとした室内展示場、体験型アート作品、敷地内から湧き出る源泉を利用した温泉足湯や箱根の山々や屋外展示場を展望できるレストランやカフェもあり、心豊かな憩いのひとときを過ごすことができます。



彫刻の森美術館ー屋外展示場

【要旨用短文】

100字

箱根地域の美術館と連携する「アートでつなぐ山と海」の第2弾。ピカソやムーアをはじめ、20世紀美術の優れたコレクションをもつ彫刻の森美術館の協力を得て、両館の名品を組み合わせ、響きあいを楽しむ展覧会です。

50字

ピカソ、ムーアなど彫刻の森美術館の名品数十点が横須賀に。2つのコレクションの響きあいを楽しむ展覧会。

20字

2館の名品による響きあいを楽しむ展覧会

プレスリリース関連の問い合わせ先 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居 4-1

○ホームページ <https://www.yokosuka-moa.jp>

Eメール kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関すること 総務係：安陪、池田 電話 046-845-1211

○展示内容に関すること 担当学芸員：沓沢、日野原 電話 046-845-1212

【図版の使用等について】

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。

・作品画像は全図で使用してください。

トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。

・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。

・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。

・WEBに掲載する場合は、解像度72dpi以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。

・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。

・その他、著作権により使用制限がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。

・原稿は掲載前に必ず当館「総務系」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。

・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「総務系」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。

・掲載誌（紙）、媒体（DVDなど）、URLなどを「総務系」あてに1部以上お送りください。

【プレゼント用招待券について】

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を20枚（10組20名様分）までご提供します。ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

【交通のご案内】

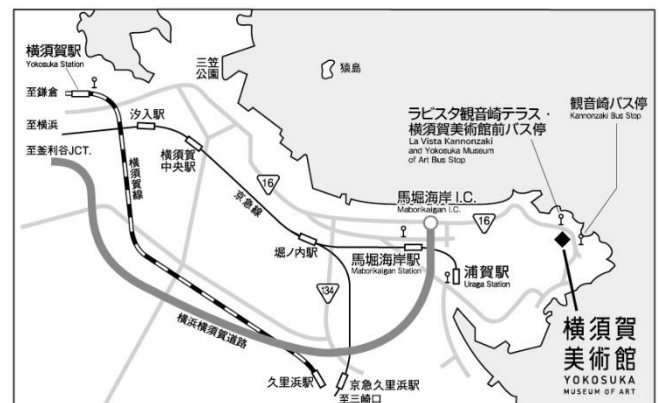
■電車をご利用の場合

*京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から
観音崎行バス「ラビスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」
下車徒歩2分

*京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」
下車徒歩5分

■車をご利用の場合

*横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km（約5分）



箱根－横須賀連携企画第2弾 アートでつなぐ山と海

響きあう 20世紀美術

彫刻の森美術館×横須賀美術館

掲載図版／チケットプレゼント申込書

FAX：046-845-1215 横須賀美術館 行き

本展覧会の広報用図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア 10組分／20枚）をご希望の方、下記へご記入の上 FAX にてご請求ください。必要な図版にをつけてください。

<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<p>バーバラ・ヘップワース 《待っている四つの形》 1968年 彫刻の森美術館所蔵 Barbara Hepworth © Bowness</p>	<p>朝倉文夫《親子猫》 1935年 彫刻の森美術館所蔵</p>	<p>ヴォルス《煉瓦の塔の上に》 1939年 彫刻の森美術館所蔵</p>

必ずご記入ください⇒ 貴社名..... TEL.....

貴誌（紙）名..... ご担当者様お名前.....

メールアドレス（画像データ送付先）.....

ご要望事項（サイズ・解像度など）.....

チケットプレゼント用招待券 希望する 希望しない

ご住所（チケット送付先）.....